

「香川同友の森」で、3回目の間伐を実施 ～フォレストマッチングで協働の森づくり～

去る11月7日、日曜日、県中小企業家同友会の会員とその家族の皆さん26人が、高松市塩江町の「香川同友の森」で、間伐活動を行いました。

これは、昨年4月22日に、県、同友会、塩江町森林組合で協定を結んだ「フォレストマッチング協働の森づくり」協定によるもので、21年6月、11月に続いて3回目の森づくり活動として間伐に取り組みました。



<参加者26人で記念撮影 高松市塩江町にて>

朝方に雨が降ったので、地盤が緩んでいるところを避けて、ノコギリの使い方や伐倒の仕方の学習、林内整理などを中心にした活動を行いました。

はじめに、「かがわフォレスター」からノコギリの使い方や間伐の必要性について学習したあと、丸太切りを体験。その後、県職員や森林組合のサポートを受けながら、間伐を行いました。子どもたちは、ノコギリの使い方の指導をうけて、丸太切りにチャレンジ。回数を重ねる度に徐々に上手く使えるようになっていきました。



<かがわフォレスターから間伐の説明を受ける参加者>



<協力して丸太切り作業を実施>



<丸太切りにチャレンジする子供達>



<林内整理をする参加者>

作業終了後、参加者は「森林に入る機会がないので、今日は貴重な体験ができた。次回も必ず参加したい」などと話していました。

香川県中小企業家同友会は、21年度から5年間、継続して間伐活動を実施する予定にしています。